

# I 平成26年鉱工業指数の動向

# 1 概況

平成26年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成22年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は104.6となり、対前年比で2.0%の上昇となった。  
 生産者出荷指数は99.0となり、対前年比で1.1%の低下となった。  
 生産者製品在庫指数は96.0となり、対前年比で2.9%の上昇となった。

鉱工業指数の推移をみると、生産指数は平成25年から2年連続して上昇となった。出荷指数は平成24年から3年連続して低下となった。在庫指数は平成22年以降4年ぶりに上昇に転じた。

生産指数は、その他の工業、鉱業、鉄鋼業などの業種の上昇により、対前年比2.0%の上昇となった。

出荷指数は、化学・石油製品工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの業種の低下により、対前年比1.1%の低下となった。

在庫指数は、プラスチック製品工業、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業などの業種の上昇により、対前年比2.9%の上昇となった。

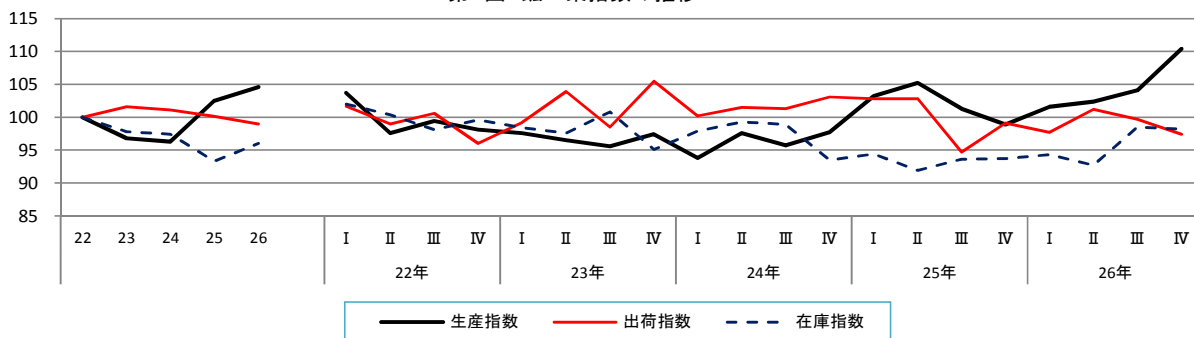
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成22年=100.0

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
生産指数	100.0	96.8	96.3	102.5	104.6
前年比(%)	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.5	6.4	2.0
出荷指数	100.0	101.6	101.1	100.1	99.0
前年比(%)	▲ 2.2	1.6	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1
在庫指数	100.0	97.8	97.4	93.3	96.0
前年比(%)	2.8	▲ 2.2	▲ 0.4	▲ 4.2	2.9

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成22年=100.0

	平成25年				平成26年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	103.2	105.2	101.3	98.9	101.6	102.4	104.1	110.4
前期比(%)	5.6	1.9	▲ 3.7	▲ 2.4	2.7	0.8	1.7	6.1
出荷指数	102.8	102.8	94.7	99.1	97.7	101.2	99.7	97.4
前期比(%)	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 7.9	4.6	▲ 1.4	3.6	▲ 1.5	▲ 2.3
在庫指数	94.4	91.9	93.6	93.7	94.3	92.7	98.5	98.2
前期比(%)	1.0	▲ 2.6	1.8	0.1	0.6	▲ 1.7	6.3	▲ 0.3

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準104.6、対前年比2.0%増)

上昇した業種は、その他の工業、鋳業、鉄鋼業などの5業種であった。

低下した業種は、金属製品工業、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準101.6、対前期比2.7%増)

上昇した業種は、その他の工業(対前期比51.1%増)などの7業種であった。

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比18.3%減)などの2業種であった。

II期(指数水準102.4、対前期比0.8%増)

上昇した業種は、化学・石油製品工業(対前期比20.1%増)などの5業種であった。

低下した業種は、その他の工業(対前期比14.7%減)などの4業種であった。

III期(指数水準104.1、対前期比1.7%増)

上昇した業種は、鉄鋼業(対前期比8.2%増)などの6業種であった。

低下した業種は、パルプ・紙・紙加工品工業(対前期比7.0%減)などの3業種であった。

IV期(指数水準110.4、対前期比6.1%増)

上昇した業種は、その他の工業(対前期比90.1%増)などの5業種であった。

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比15.7%減)などの4業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					25年	26年				原指数		26年 季節調整済指数			
		24年	25年	26年	IV期	I期	II期	III期	IV期	25年	26年	I期	II期	III期	IV期
鋳工業	10000.0	96.3	102.5	104.6	98.9	101.6	102.4	104.1	110.4	6.4	2.0	2.7	0.8	1.7	6.1
鉄鋼業	386.1	100.8	109.7	118.1	113.1	114.9	115.4	124.9	116.9	8.8	7.7	1.6	0.4	8.2	▲ 6.4
金属製品工業	1231.3	111.1	125.7	116.9	122.3	115.4	109.6	117.3	121.4	13.1	▲ 7.0	▲ 5.6	▲ 5.0	7.0	3.5
窯業・土石製品工業	1806.7	95.8	105.3	108.7	105.1	107.5	112.2	106.9	108.8	9.9	3.2	2.3	4.4	▲ 4.7	1.8
化学・石油製品工業	962.2	108.5	92.9	92.9	101.2	82.7	99.3	103.0	86.8	▲ 14.4	▲ 0.0	▲ 18.3	20.1	3.7	▲ 15.7
プラスチック製品工業	174.5	108.3	116.6	118.2	114.8	118.8	111.7	120.4	120.3	7.7	1.4	3.5	▲ 6.0	7.8	▲ 0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	164.0	94.2	95.7	95.6	94.9	100.7	97.2	90.4	93.5	1.6	▲ 0.1	6.1	▲ 3.5	▲ 7.0	3.4
食料品工業	4255.3	87.7	91.0	90.1	88.5	89.3	90.1	89.0	92.0	3.8	▲ 1.0	0.9	0.9	▲ 1.2	3.4
その他の工業	849.0	101.1	127.0	154.3	92.7	140.1	119.5	127.7	242.8	25.6	21.5	51.1	▲ 14.7	6.9	90.1
鋳業	170.9	94.9	99.1	117.0	96.2	110.7	120.3	121.1	117.7	4.4	18.1	15.1	8.7	0.7	▲ 2.8
産業総合(参考)	12444.3	96.7	102.0	103.7	99.2	100.9	101.7	103.6	108.7	5.5	1.7	1.7	0.8	1.9	4.9

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鋳工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準99.0、対前年比1.1%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの4業種であった。

上昇した業種は、その他の工業、鉱業、鉄鋼業などの5業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準97.7、対前期比1.4%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比18.2%減)などの2業種であった。

上昇した業種は、その他の工業(対前期比48.0%増)などの7業種であった。

II 期(指数水準101.2、対前期比3.6%増)

上昇した業種は、鉱業(対前期比17.7%増)などの3業種であった。

低下した業種は、プラスチック製品工業(対前期比13.8%減)などの6業種であった。

III 期(指数水準99.7、対前期比1.5%減)

低下した業種は、パルプ・紙・紙加工品工業(対前期比5.9%減)などの5業種であった。

上昇した業種は、金属製品工業(対前期比5.3%増)などの4業種であった。

IV 期(指数水準97.4、対前期比2.3%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比19.2%減)などの4業種であった。

上昇した業種は、その他の工業(対前期比89.6%増)などの5業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					25年		26年			原指数		H26年 季節調整済指数			
		24年	25年	26年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	25年	26年	I 期	II 期	III 期	IV 期
鉱工業	10000.0	101.1	100.1	99.0	99.1	97.7	101.2	99.7	97.4	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 1.4	3.6	▲ 1.5	▲ 2.3
鉄鋼業	347.1	98.6	109.6	116.8	111.3	114.6	123.3	117.6	113.2	11.2	6.6	3.0	7.6	▲ 4.6	▲ 3.7
金属製品工業	764.3	114.1	129.3	120.1	127.3	120.2	113.1	119.1	123.9	13.3	▲ 7.1	▲ 5.6	▲ 5.9	5.3	4.0
窯業・土石製品工業	1171.7	95.4	104.2	109.2	101.6	112.3	111.3	105.9	108.4	9.2	4.8	10.5	▲ 0.9	▲ 4.9	2.4
化学・石油製品工業	3350.2	111.5	96.6	88.8	102.3	83.7	98.2	95.2	76.9	▲ 13.4	▲ 8.1	▲ 18.2	17.3	▲ 3.1	▲ 19.2
プラスチック製品工業	114.8	120.5	115.1	116.1	115.4	122.8	105.9	110.0	125.4	▲ 4.5	0.9	6.4	▲ 13.8	3.9	14.0
パルプ・紙・紙加工品工業	111.3	96.1	97.6	97.1	96.5	104.3	96.1	90.4	96.6	1.6	▲ 0.5	8.1	▲ 7.9	▲ 5.9	6.9
食料品工業	3617.1	90.7	91.6	91.4	90.6	93.9	90.3	90.9	90.0	1.0	▲ 0.2	3.6	▲ 3.8	0.7	▲ 1.0
その他の工業	442.8	101.3	127.4	155.1	93.6	138.5	122.2	127.5	241.8	25.8	21.7	48.0	▲ 11.8	4.3	89.6
鉱業	80.7	86.6	88.7	104.6	87.3	98.2	115.6	115.3	93.4	2.4	17.9	12.5	17.7	▲ 0.3	▲ 19.0
産業総合(参考)	12830.6	100.5	100.2	99.3	99.9	98.1	100.7	99.9	98.6	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.8	2.7	▲ 0.8	▲ 1.3

注1) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2) 産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準96.0、対前年比2.9%増)

上昇した業種は、プラスチック製品工業、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業などの6業種であった。

低下した業種は、金属製品工業、その他の工業、食料品工業の3業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準94.3、対前期比0.6%増)

上昇した業種は、化学・石油製品工業(対前期比15.8%増)などの3業種であった。

低下した業種は、金属製品工業(対前期比84.9%減)などの6業種であった。

II期(指数水準92.7、対前期比1.7%減)

低下した業種は、金属製品工業(対前期比12.0%減)などの5業種であった。

上昇した業種は、パルプ・紙・紙加工品工業(対前期比19.0%増)などの4業種であった。

III期(指数水準98.5、対前期比6.3%増)

上昇した業種は、プラスチック製品工業(対前期比17.7%増)などの5業種であった。

低下した業種は、金属製品工業(対前期比20.5%減)などの4業種であった。

IV期(指数水準98.2、対前期比0.3%減)

低下した業種は、金属製品工業(対前期比15.7%減)などの5業種であった。

上昇した業種は、鉄鋼業(対前期比7.3%増)などの4業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					25年		26年				原指数		26年 季節調整済指数			
		24年	25年	26年	IV期	I期	II期	III期	IV期	25年	26年	I期	II期	III期	IV期	
鉱工業	10000.0	97.4	93.3	96.0	93.7	94.3	92.7	98.5	98.2	▲ 4.2	2.9	0.6	▲ 1.7	6.3	▲ 0.3	
鉄鋼業	569.9	106.4	107.4	109.8	97.5	106.6	105.7	109.7	117.7	0.9	2.2	9.3	▲ 0.8	3.8	7.3	
金属製品工業	565.4	95.3	72.6	7.7	66.3	10.0	8.8	7.0	5.9	▲ 23.8	▲ 89.4	▲ 84.9	▲ 12.0	▲ 20.5	▲ 15.7	
窯業・土石製品工業	1220.0	88.6	100.7	109.9	109.1	104.8	107.1	114.0	113.1	13.7	9.1	▲ 3.9	2.2	6.4	▲ 0.8	
化学・石油製品工業	3196.5	99.5	83.9	99.5	82.1	95.1	90.8	106.6	105.1	▲ 15.7	18.6	15.8	▲ 4.5	17.4	▲ 1.4	
プラスチック製品工業	131.8	130.3	113.8	139.2	116.3	117.1	126.5	148.9	158.1	▲ 12.7	22.3	0.7	8.0	17.7	6.2	
パルプ・紙・紙加工品工業	92.3	98.9	93.7	97.6	94.7	79.0	94.0	110.6	107.6	▲ 5.3	4.2	▲ 16.6	19.0	17.7	▲ 2.7	
食料品工業	3471.7	97.3	97.6	96.3	99.9	98.3	96.1	95.3	95.5	0.3	▲ 1.3	▲ 1.6	▲ 2.2	▲ 0.8	0.2	
その他の工業	249.7	96.0	109.8	103.1	116.4	113.7	102.7	100.8	95.5	14.4	▲ 6.1	▲ 2.3	▲ 9.7	▲ 1.9	▲ 5.3	
鉱業	502.7	90.0	100.1	106.6	105.8	102.5	107.0	105.2	111.8	11.2	6.5	▲ 3.1	4.4	▲ 1.7	6.3	
産業総合(参考)	10000.0	97.4	93.3	96.0	93.7	94.3	92.7	98.5	98.2	▲ 4.2	2.9	0.6	▲ 1.7	6.3	▲ 0.3	

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

## 2 業種別の動向

### (1) 鉄鋼業

生産指数(指数水準118.1、対前年比7.7%増)

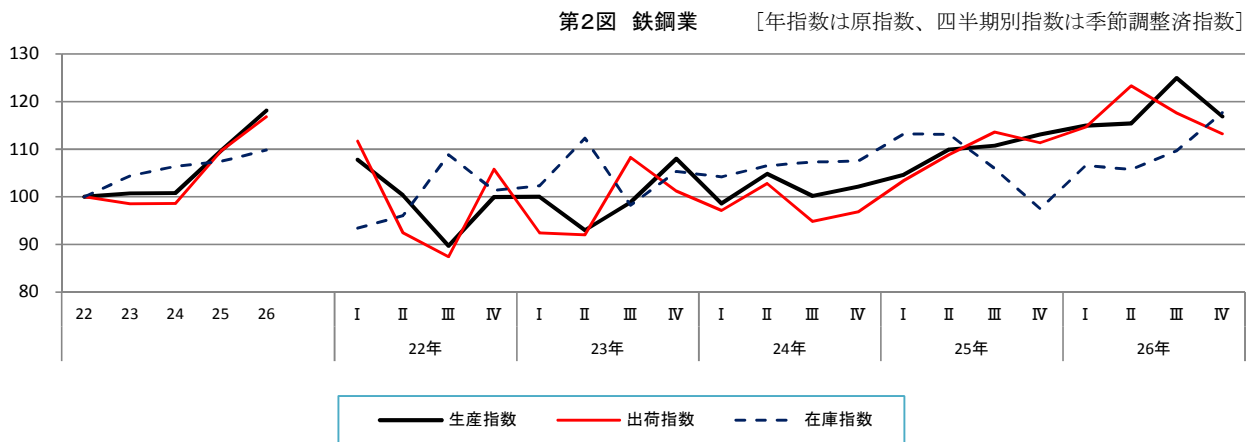
生産が上昇した品目は、小形棒鋼、線材・バーインコイル、鉄蓋などであった。

出荷指数(指数水準116.8、対前年比6.6%増)

出荷が上昇した品目は、小形棒鋼、線材・バーインコイル、鉄蓋などであった。

在庫指数(指数水準109.8、対前年比2.2%増)

在庫が上昇した品目は、線材・バーインコイル、小形棒鋼であった。



### (2) 金属製品工業

生産指数(指数水準116.9、対前年比7.0%減)

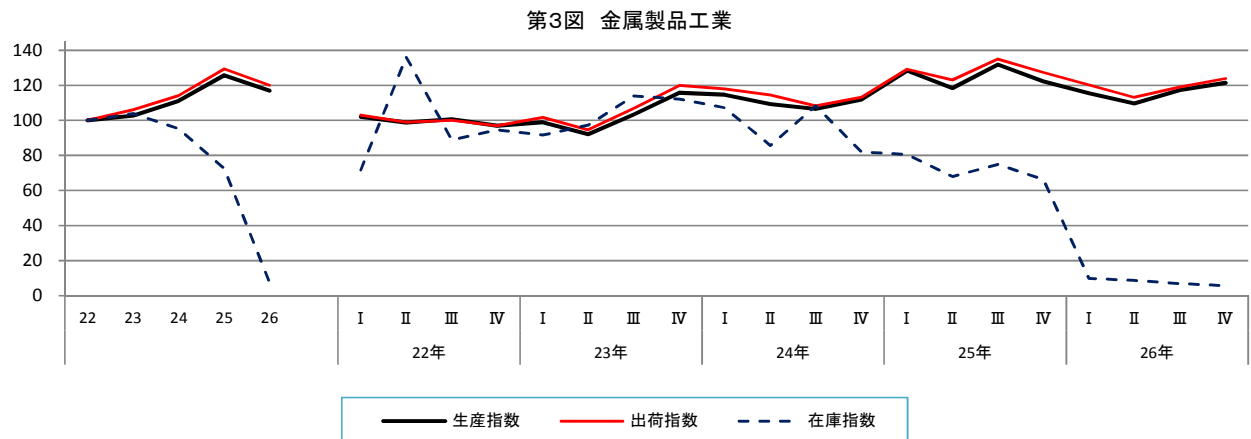
生産が低下した品目は、金網、金属製建具(サッシ・シャッター・ドア)、鉄骨であった。

出荷指数(指数水準120.1、対前年比7.1%減)

出荷が低下した品目は、金網、金属製建具(サッシ・シャッター・ドア)、鉄骨であった。

在庫指数(指数水準7.7、対前年比89.4%減)

在庫が低下した品目は、金属製建具(サッシ・シャッター・ドア)、金網であった。



### (3) 窯業・土石製品工業

生産指数(指数水準108.7、対前年比3.2%増)

生産が上昇した品目は、ポルトランドセメント（普通）、生コンクリート、空洞コンクリートブロックなどであった。

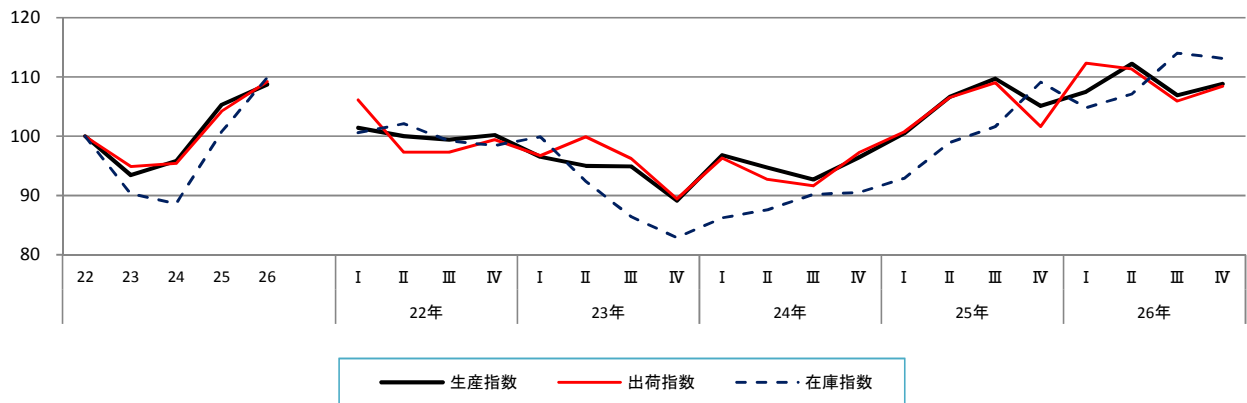
出荷指数(指数水準109.2、対前年比4.8%増)

出荷が上昇した品目は、生コンクリート、ポルトランドセメント（普通）、その他のプレストレストコンクリート製品などであった。

在庫指数(指数水準109.9、対前年比9.1%増)

在庫が上昇した品目は、道路用コンクリート製品、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、遠心力鉄筋コンクリート管などであった。

第4図 窯業・土石製品工業



### (4) 化学・石油製品工業

生産指数(指数水準92.9、対前年比0.0%減)

生産が低下した品目は、C重油、軽油、農薬（液剤）などであった。

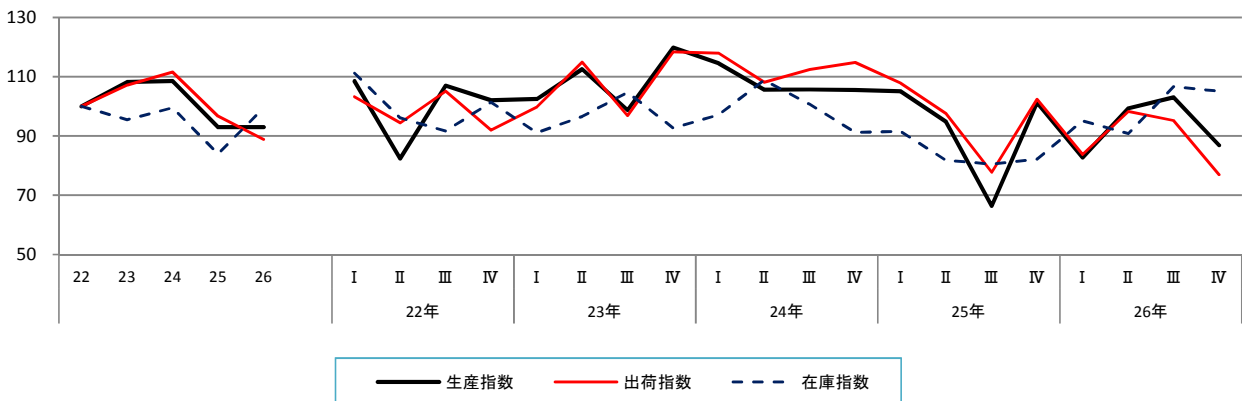
出荷指数(指数水準88.8、対前年比8.1%減)

出荷が低下した品目は、C重油、軽油、A重油などであった。

在庫指数(指数水準99.5、対前年比18.6%増)

在庫が上昇した品目は、C重油、軽油、配合肥料などであった。

第5図 化学・石油製品工業



## (5) プラスチック製品工業

生産指数(指数水準118.2、対前年比1.4%増)

生産が上昇した品目は、発泡プラスチック製品であった。

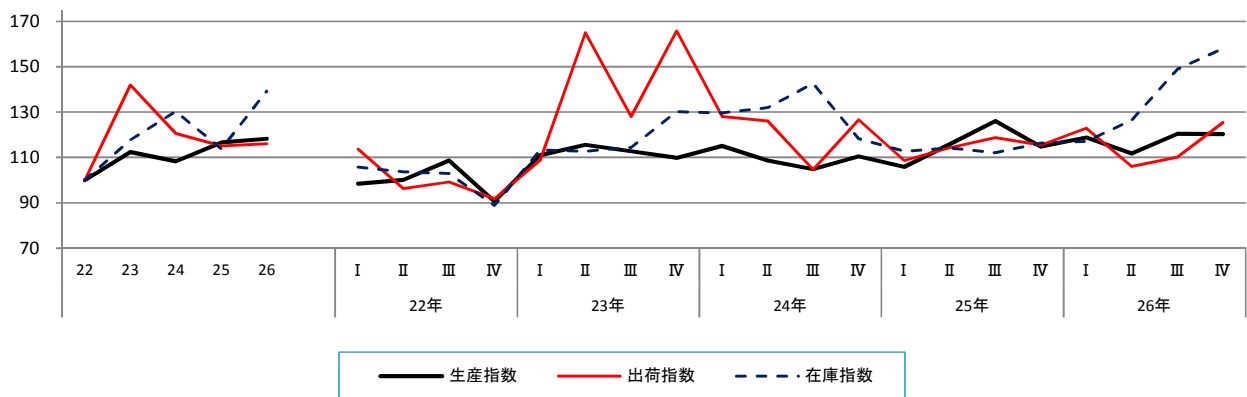
出荷指数(指数水準116.1、対前年比0.9%増)

出荷が上昇した品目は、発泡プラスチック製品、プラスチック製フィルム・シートであった。

在庫指数(指数水準139.2、対前年比22.3%増)

在庫が上昇した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器（中空成形）であった。

第6図 プラスチック製品工業



## (6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数(指数水準95.6、対前年比0.1%減)

生産が低下した品目は、トイレットペーパーであった。

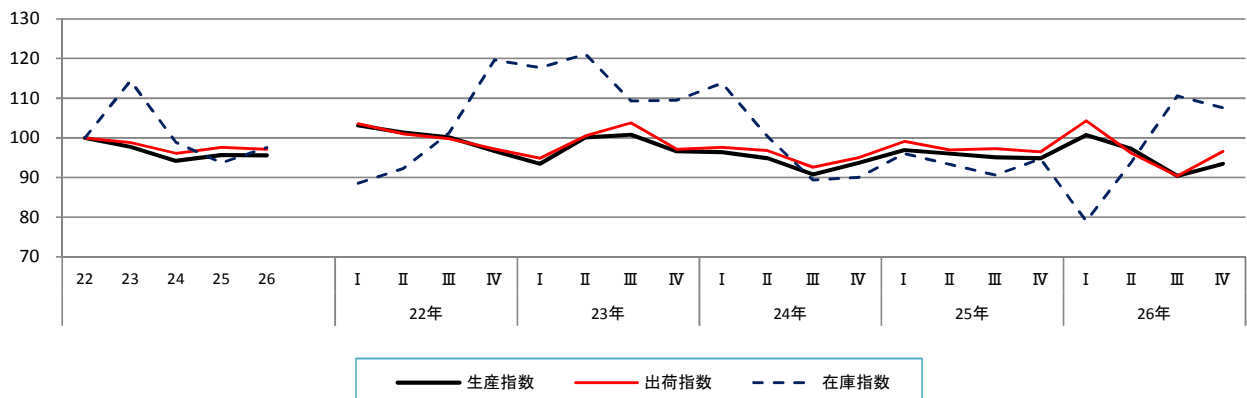
出荷指数(指数水準97.1、対前年比0.5%減)

出荷が低下した品目は、トイレットペーパー、段ボール、ちり紙であった。

在庫指数(指数水準97.6、対前年比4.2%増)

在庫が上昇した品目は、トイレットペーパー、ちり紙、タオル用紙であった。

第7図 パルプ・紙・紙加工品工業





## (7) 食料品工業

生産指数(指数水準90.1、対前年比1.0%減)

生産が低下した品目は、あわもり、発泡酒、清涼飲料・嗜好飲料などであった。

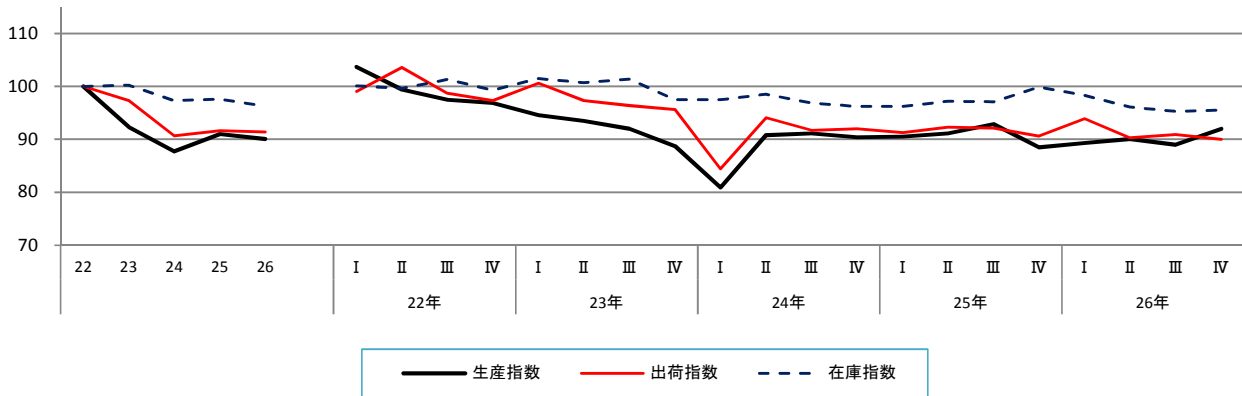
出荷指数(指数水準91.4、対前年比0.2%減)

出荷が低下した品目は、豚枝肉、あわもり、発泡酒などであった。

在庫指数(指数水準96.3、対前年比1.3%減)

在庫が低下した品目は、あわもり、肉缶詰、ソーセージなどであった。

第8図 食料品工業



## (8) その他の工業

生産指数(指数水準154.3、対前年比21.5%増)

生産が上昇した品目は、平板印刷（オフセット印刷）、綿織物、絹織物であった。

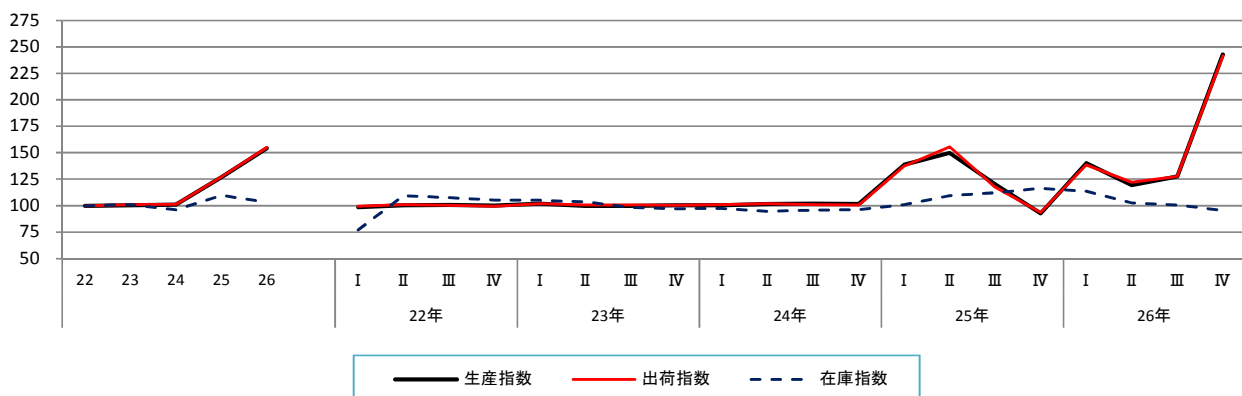
出荷指数(指数水準155.1、対前年比21.7%増)

出荷が上昇した品目は、平板印刷（オフセット印刷）、綿織物、絹織物などであった。

在庫指数(指数水準103.1、対前年比6.1%減)

在庫が低下した品目は、アルミ圧延製品、絹織物であった。

第9図 その他の工業



## (9) 鉱業

生産指数(指数水準117.0、対前年比18.1%増)

生産が上昇した品目は、石灰石、軟けい石であった。

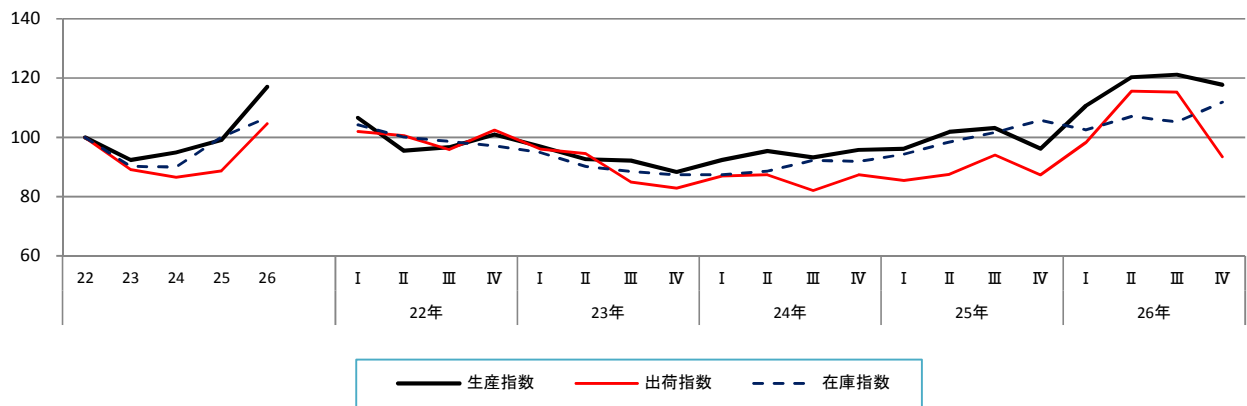
出荷指数(指数水準104.6、対前年比17.9%増)

出荷が上昇した品目は、石灰石、軟けい石であった。

在庫指数(指数水準106.6、対前年比6.5%増)

在庫が上昇した品目は、石灰石であった。

第10図 鉱業



### 3 財分類別の動向

#### (1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は103.2となり、対前年比で0.8%の低下となった。  
生産財は107.9となり、対前年比で9.3%の上昇となった。

最終需要財の投資財は113.7(対前年比0.4%減)、消費財は93.8(対前年比1.3%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は86.5(対前年比3.5%増)、その他用生産財は130.3(対前年比13.8%増)となった。

#### (2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は102.5となり、対前年比で0.2%の上昇となった。  
生産財は93.4となり、対前年比で3.5%の低下となった。

最終需要財の投資財は114.9(対前年比0.3%増)、消費財は95.3(対前年比0.2%増)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は84.9(対前年比0.9%減)、その他用生産財は97.5(対前年比4.4%減)となった。

#### (3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は89.3となり、対前年比で6.4%の低下となった。  
生産財は109.8となり、対前年比で23.1%の上昇となった。

最終需要財の投資財は85.2(対前年比11.0%減)、消費財は91.5(対前年比3.9%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は122.2(対前年比22.6%増)、その他用生産財は103.8(対前年比23.6%増)となった。

第6表 財分類別生産指数

平成22年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年
鉱工業	10000.0	100.0	96.8	96.3	102.5	104.6	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.5	6.4	2.0
最終需要財	7075.0	100.0	97.2	98.8	104.0	103.2	▲ 2.2	▲ 2.8	1.6	5.3	▲ 0.8
投資財	3336.4	100.0	97.9	102.3	114.1	113.7	▲ 4.2	▲ 2.1	4.5	11.5	▲ 0.4
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3336.4	100.0	97.9	102.3	114.1	113.7	▲ 4.2	▲ 2.1	4.5	11.5	▲ 0.4
消費財	3738.6	100.0	96.5	95.6	95.0	93.8	▲ 0.3	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.3
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3738.6	100.0	96.5	95.6	95.0	93.8	▲ 0.3	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.3
生産財	2925.0	100.0	95.8	90.3	98.7	107.9	▲ 2.0	▲ 4.2	▲ 5.7	9.3	9.3
鉱工業用生産財	1492.7	100.0	87.9	75.4	83.6	86.5	▲ 3.8	▲ 12.1	▲ 14.2	10.9	3.5
その他用生産財	1432.3	100.0	104.2	105.8	114.5	130.3	▲ 0.1	4.2	1.5	8.2	13.8

第7表 財分類別出荷指数

平成22年=100.0

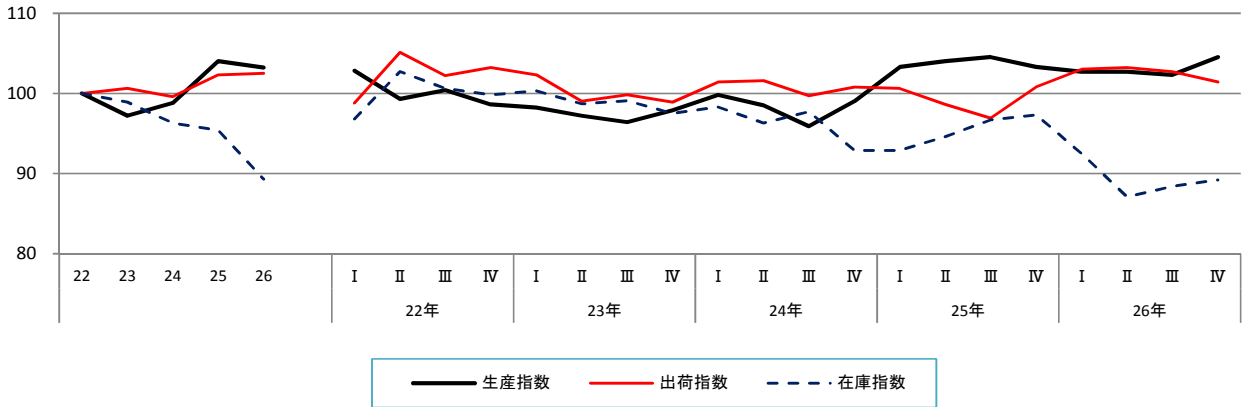
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年
鉱工業	10000.0	100.0	101.6	101.1	100.1	99.0	▲ 2.2	1.6	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1
最終需要財	6042.7	100.0	100.6	99.6	102.3	102.5	▲ 2.0	0.6	▲ 1.0	2.7	0.2
投資財	2236.2	100.0	99.9	102.9	114.6	114.9	▲ 4.0	▲ 0.1	3.0	11.4	0.3
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2236.2	100.0	99.9	102.9	114.6	114.9	▲ 4.0	▲ 0.1	3.0	11.4	0.3
消費財	3806.5	100.0	101.1	97.6	95.1	95.3	▲ 0.8	1.1	▲ 3.5	▲ 2.6	0.2
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3806.5	100.0	101.1	97.6	95.1	95.3	▲ 0.8	1.1	▲ 3.5	▲ 2.6	0.2
生産財	3957.3	100.0	103.1	103.4	96.8	93.4	▲ 2.3	3.1	0.3	▲ 6.4	▲ 3.5
鉱工業用生産財	1264.6	100.0	99.3	89.4	85.7	84.9	▲ 7.7	▲ 0.7	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 0.9
その他用生産財	2692.7	100.0	105.0	110.0	102.0	97.5	0.5	5.0	4.8	▲ 7.3	▲ 4.4

第8表 財分類別在庫指数

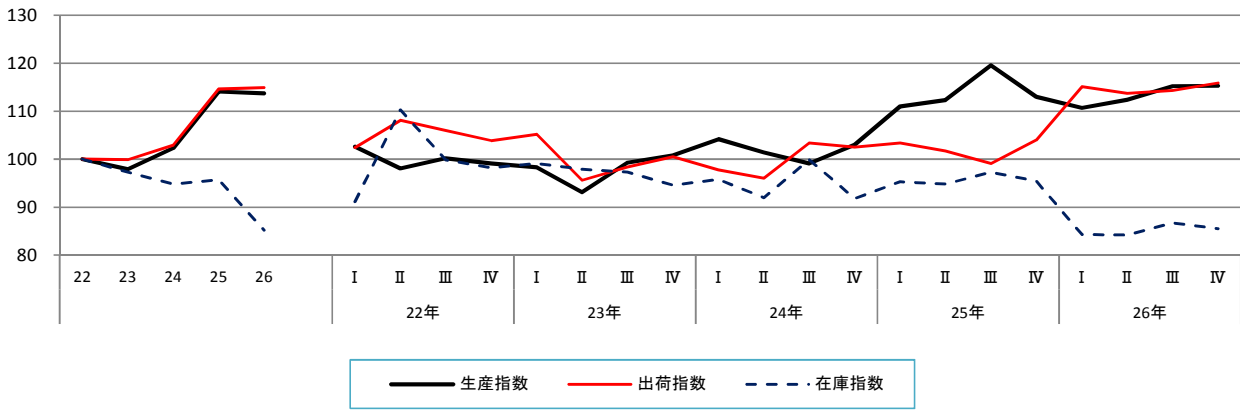
平成22年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年
鉱工業	10000.0	100.0	97.8	97.4	93.3	96.0	2.8	▲ 2.2	▲ 0.4	▲ 4.2	2.9
最終需要財	6740.5	100.0	98.9	96.3	95.4	89.3	4.5	▲ 1.1	▲ 2.6	▲ 0.9	▲ 6.4
投資財	2340.3	100.0	97.3	94.8	95.7	85.2	3.0	▲ 2.7	▲ 2.6	0.9	▲ 11.0
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2340.3	100.0	97.3	94.8	95.7	85.2	3.0	▲ 2.7	▲ 2.6	0.9	▲ 11.0
消費財	4400.2	100.0	99.7	97.1	95.2	91.5	5.3	▲ 0.3	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 3.9
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	4400.2	100.0	99.7	97.1	95.2	91.5	5.3	▲ 0.3	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 3.9
生産財	3259.5	100.0	95.6	99.7	89.2	109.8	▲ 0.5	▲ 4.4	4.3	▲ 10.5	23.1
鉱工業用生産財	1062.1	100.0	99.1	98.9	99.7	122.2	▲ 8.1	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8	22.6
その他用生産財	2197.4	100.0	94.0	100.0	84.0	103.8	3.6	▲ 6.0	6.4	▲ 16.0	23.6

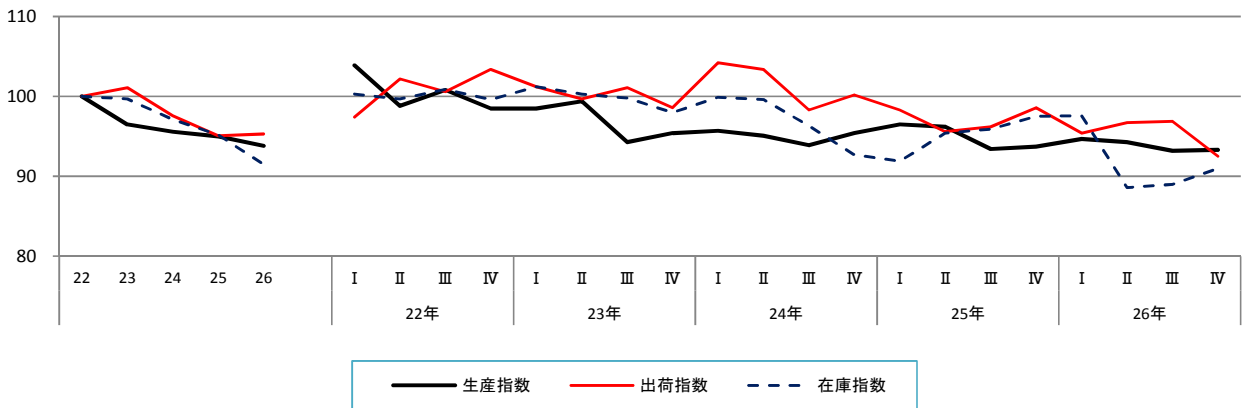
第11図 最終需要財



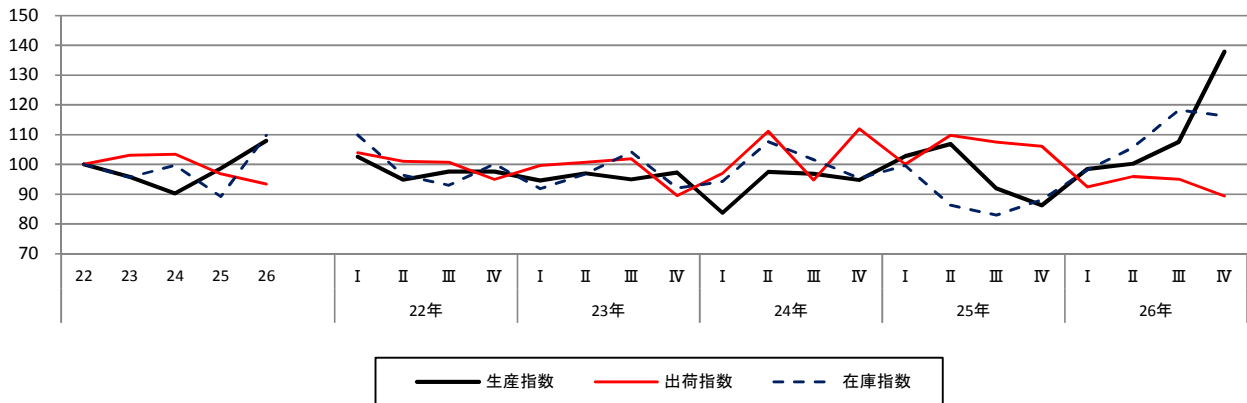
第12図 建設財



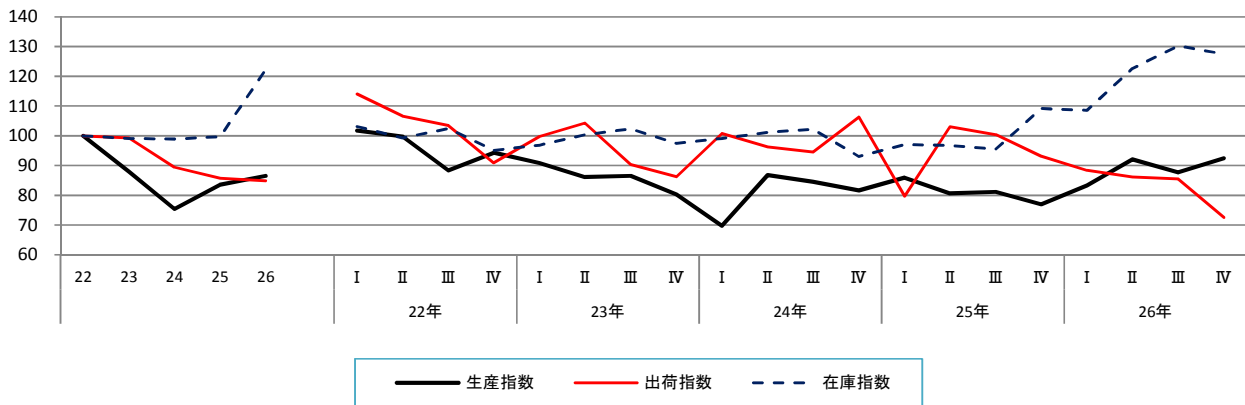
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

